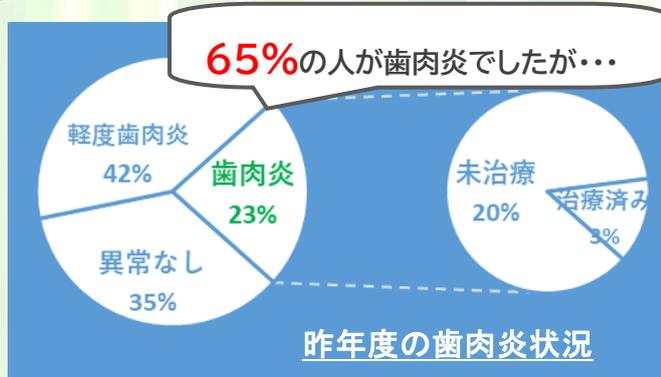


歯ぐきから 血が出ませんか？

コロナで忙しいのに歯ぐきのこと？と思った人もいるのでは？
いえいえ、コロナで一日中家にいるからこそ歯ぐきののです！



昨年度、歯ぐきに何らかの異常があると言われた人が65%もいました。(全国平均50%) 治療を済ませている人も少なく、聖高生の歯ぐきは非常に危険な状態でした。そして今、生活リズムが整いづらい毎日で、常に食べ物が口の中にある人も多いのでは？そんな人は自分が気づかないだけで、口臭を発しているかも…。

**3食食べてその都度歯磨き
だらだら食いはしない**
免疫力はお口から！

Part2ではアルコール消毒薬についてのお話でした。今回は…

【アルコール以外の消毒薬について】

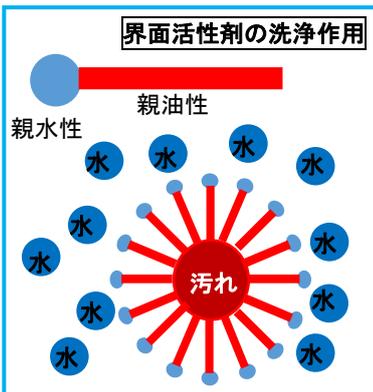
現在、新型コロナウイルスに有効な可能性がある消毒法として、経済産業省で選定され、検証中なのは次の3つです*7。

- ①界面活性剤 (台所用洗剤等)
- ②次亜塩素酸水 (電気分解法で生成したもの)
- ③第4級アンモニウム塩

コロナウイルスにまつわる 科学の話



Part3

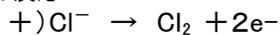


界面活性剤は、分子中に親水性の部分と親油性の部分をもっていて、油性の汚れなどを親油性の部分で取り囲み、親水性の部分で水に分散させる性質をもち、洗浄作用があります。コロナウイルスの不活性化にも有効であるという試験結果もあります*6。

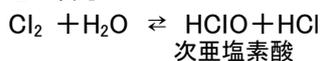
塩化ナトリウム水溶液を電気分解すると、陽極に塩素を含む溶液ができます。これが②の次亜塩素酸水です。塩素が水に溶けて次亜塩素酸 HClO と塩酸ができていますので酸性です。次亜塩素酸は酸化力が強く、有機物を手当たり次第に酸化して壊します。確かにウイルスもダメージを受けそうな気がしますね。似たものに、次亜塩素酸ナトリウム NaClO がありますが、これは塩で水溶液はアルカリ性です。ハイターなどの漂白剤の主成分で、含まれる ClO⁻にも同様の酸化力があります。どちらも、ウイルスでなくても酸化し、同時に自分も変化して酸化力はなくなります。

塩化ナトリウム水溶液の電気分解

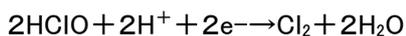
陽極での反応



塩素と水との反応

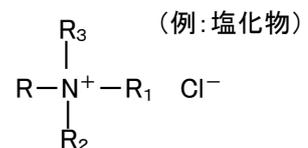


次亜塩素酸の酸化剤としての反応



アンモニウムイオンは NH₄⁺ですが、この4つのHがすべてアルキル基 (CH₃-など) になったイオンを含む塩が第4級アンモニウム塩です。塩化ベンザルコニウム (例: キレイキレイ薬用ハンドジェルの有効成分) や塩化ベンゼトニウム (例: マキロンの殺菌成分) などがあります。菌に対する効果は知られていますが、コロナウイルスへの効果はどうか、検証結果が待たれるところです。

第4級アンモニウム塩



参考引用*6 北里大学プレス「医薬部外品および雑貨の新型コロナウイルス不活化効果について」

*7 独立行政法人製品評価技術基盤機構「新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価」